

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	日本建築史小委員会		主査名：野村 俊一 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：大橋 竜太 主査名：
設置期間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	日本建築史研究成果の情報交換と研究の活性化 初年度：ア) 次年度実施に向けての PD の検討 イ) 文化財総合調査と修理事業の学術的整理と成果の発信 2 年度：ア) PD 等企画の議論 イ) 文化財総合調査と修理事業の学術的検討 3 年度：ア) 文化財調査と修理事業の研究会開催 イ) 日本建築史の再検討に関する研究会開催 4 年度：ア) 日本建築史の再検討と社会への発信に関する研究集会の開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：野村俊一 (東北大学) 幹事：米澤貴紀 (奈良文化財研究所)、鈴木智大 (名城大学) 委員：青柳憲昌 (立命館大学)、赤澤真理 (大妻女子大学)、海野聡 (東京大学)、北脇翔平 (文化財建造物保存技術協会)、是澤紀子 (日本女子大学)、辻慎一郎 (京都府立大学)、登谷伸宏 (京都工芸科大学)、富島義幸 (京都大学)、箱崎和久 (奈良文化財研究所)、溝口正人 (名古屋市立大学)、光井渉 (東京藝術大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2023 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本小委員会が後援した近畿支部建築史部会が実施され、東海支部建築歴史意匠委員会研究懇談会が今年度中に実施予定である。各種学会やシンポジウムなどとも連携しながら、日本建築史の枠組み造りについて情報交換を行った。
委員会活動の問題点・課題	1) 研究者の世代交代が進んでいるなか、新たな体制およびネットワーク構築が望まれる。 2) コロナ禍後の建築史学のプレゼンス再建。